



高速しが

平成30年
2月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

無くても! 逆走

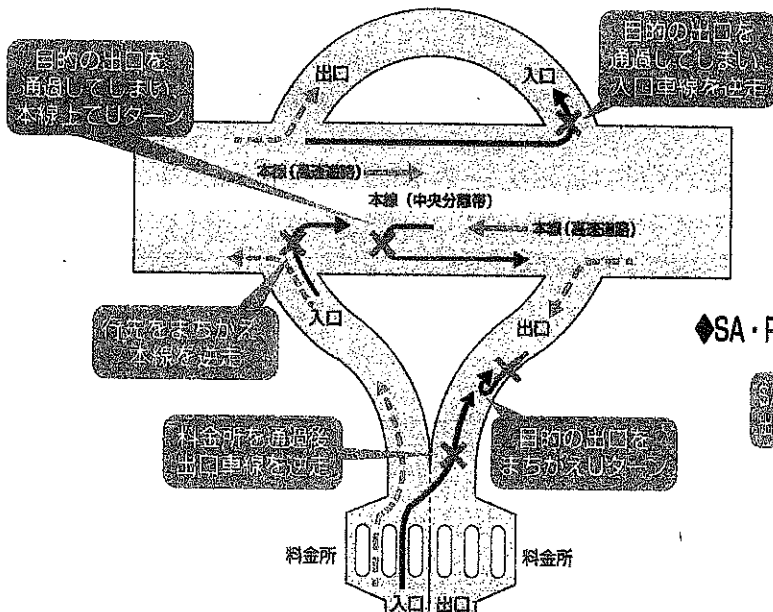
高速道路上で逆走車に起因する事故が発生しています。

逆走は命にかかわる危険行為です。

規制標識、案内標識、路面標示を十分に確認し走行しましょう。

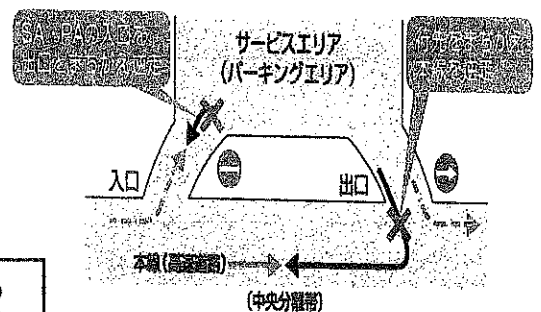
逆走はこんな所で起こりやすい!

◆インターチェンジ・料金所付近で



注意看板

◆SA・PA付近で



逆走を見かけたら

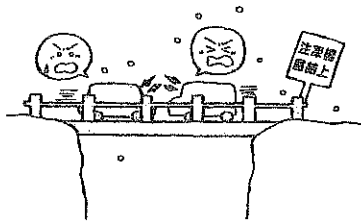
- 1 ハザードランプを点灯して、まずブレーキを
- 2 速度を落とし、十分な車間距離をとって通行帯の最も左側を走行
- 3 110番、最寄りの非常電話で通報

○ 高速道路安全走行のポイント ○

冬期の高速道路では、凍結等予期せぬ道路状況によって多重事故に発展することが多々あります。

気象状況や路面の変化をしっかりと読み取り、状況に応じて危険を予測した運転に心がけてください。

※ 路面状況の変化や雪煙にも十分警戒

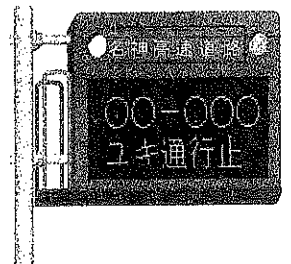


切り通しや高架、橋梁部、トンネルなど、路面状況の変化が予測されるところでは、スピードを落として走行してください。

また、追い越した車が巻き上げる雪煙等で、突然視界が奪われることがあります。降雪中は勿論、融雪時の走行にも十分注意してください。

※ 交通規制を確かめてから進入する

降雪、凍結等によって渋滞や時には通行止めとなることがあります。高速道路を利用する際は、交通情報板や各種の案内から交通情報を早期に入手し、交通規制を確かめてから進入することが大切です。



※ ランプウェイには速度を確かめてから進入する

凍結注意

ランプウェイのカーブ地点や料金ゲート付近では、車両から落下した雪が凍結しアイスバーン状態となります。急加速急減速がスリップ事故を誘発することを認識し、焦らず慌てず「スピードコントロール」で安全に走行するようにこころがけましょう。

※ 自分の判断だけで運転するのは危険

自分のペースが基準ではありません。

車の流れや速度の変化による車間距離の急激な詰まりや、無理な車線変更によって生ずる他への危険を予測して、慎重な運転を心がけることで事故を防げます。

